

中学校美術科

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた

授業改善 事例①

1 題材について

1 題材名 「お菓子が佐賀の魅力を発信しよう」（第2学年）

2 題材の目標

- ・学習指導要領の目標や内容を踏まえて設定します。
- ・生徒の実態、これまでの学習状況等を考慮して設定します。

(1) 「知識及び技能」に関する題材の目標

- ・形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解する。
(〔共通事項〕)
- ・材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表す。
(〔A表現〕(2))

(2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する題材の目標

- ・伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や伝達の効果と美しさとの調和を総合的に考え、表現の構想を練る。
(〔A表現〕(1)イ(1))
- ・伝達のデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫について考え、見方や感じ方を深める。
(〔B鑑賞〕(1)ア(1))

(3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する題材の目標

- ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝達の効果や美しさなどとの調和を総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとする。
(〔A表現〕(1)イ(1)、(2))
- ・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に伝達のデザインの目的や機能の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。
(〔B鑑賞〕(1)ア(1))

3 題材の評価規準

- ・国立教育政策研究所「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料（中学校美術）」に示されている「内容のまとめりごとの評価規準(例)」を具体化したり省略したりして、設定します。

知知識 技技能 発発想や構想 鑑鑑賞 態表態度(表現) 態鑑態度(鑑賞)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>知 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、全体のイメージで捉えることを理解している。</p> <p>技 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しをもって創造的に表している。</p>	<p>発 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出し、形や色彩などが感情にもたらす効果や伝達の効果と美しさとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。</p> <p>鑑 伝達のデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p>	<p>態表 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝達の効果や美しさなどとの調和を総合的に考えて構想を練り、意図に応じて創意工夫し見通しをもって表す表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に伝達のデザインの目的や機能の調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして、見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

授業づくりに当たって

題材の前に実施したアンケートの、「美術の学習は、生活を美しく豊かにすることに役立つと思いますか。」という質問では、83.0%の生徒が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答しました。しかし、「美術の学習をすれば、普段の生活や社会に出て役立つと思いますか」という質問では、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した生徒が51.2%でした。その理由として、絵画による表現や鑑賞に関わる回答をしています。また、「美術の学習の中で、どの分野が苦手ですか」という質問では、「絵を描くことが苦手」、「色付けがうまくいかない」といった創造的に表す技能を働かせることに関する苦手さや、「想像するのが苦手」、「構成などを考えるのが難しい」といった発想や構想に関する苦手さがあります。普段の表現の学習の様子からも、教師や友人に尋ねた色や表現方法をそのまま活用する生徒が見られ、発想や構想したことを基に表現することに課題があると考えました。

第1学年では、色彩の学習を基に、絵文字をデザインする平面作品の制作、身近なものを見立てる立体作品の制作など、様々な表現の学習に取り組みました。この学習を基に、社会における美術の役割に気付き見方や感じ方を深めていくこと、既習の学習内容を活用して、発想や構想をしたことを基に創造的に表す技能を身に付けることを重点的なねらいの一つとして、授業改善を行いました。

4 題材の指導と評価の計画（全10時間）

・題材全体の指導と評価の計画を考えます。

- …生徒の学習の実現状況を見取り、生徒の学習の改善や教師の指導の改善につなげるために用いる指導に生かす評価
- …題材の観点別学習状況の評価の総括に用いる記録に残す評価
- 【 】 …評価の方法や生徒の学習の実現状況を見取るための資料
- 知、技、知・技、思、鑑、態表、態鑑 …評価の観点

時	●学習のねらい ・学習活動	主な評価の観点及び評価方法、留意点		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	1. 鑑賞（1時間） ●地域の魅力が伝わるお菓子を鑑賞し、伝達のデザインについて見方や感じ方を深めるとともに、形や色彩などの効果や、伝達の効果と美しさとの調和など全体のイメージで捉えることを理解する。 ・地域の魅力が伝わるお菓子の鑑賞を行い、魅力が伝わるお菓子の特徴について形や色彩などの性質の視点から感じたことや考えたことなどの意見を交流する。	知 造形的な視点に着目して、伝達のデザインにおける統一感などについて理解しているかを見取る。【発言の内容、ワークシート】	鑑 表現の意図と創造的な工夫などについて考えているかを見取る。【発言の内容、ワークシート】	態鑑 伝達のデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取ろうとしたり、表現の意図と創造的な工夫などについて考えようとしていたりして、見方や感じ方を深めようとしているかを見取る。【活動の様子、ワークシート】
2 3 4	2. 発想や構想（3時間） ●主題を生み出す。 ・自分が選んだ地域の資料を集め、それを基に地域の魅力や特色を伝えるための内容を整理する。 ・鑑賞の学習で学んだことを生かしながら、お菓子を購入する客層や食べる場面などのイメージから主題を生み出す。		発 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出すことができているかを見取る。【アイデアスケッチ、活動の様子】	態表 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出そうとする態度を見取る。【アイデアスケッチ、活動の様子】

	<p>●主題を基に構想を練る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生み出した主題やアイデアスケッチを基に、形や色彩が感情にもたらす効果や、伝達の効果や美しさとの調和を総合的に考え、制作企画書を作成し表現の構想を練る。 ・主題を基に、使用する材料や制作方法、手順を検討する。 		<p>発 主題を基に形や色彩が感情にもたらす効果や、伝達の効果や美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っているかを見取る。【アイデアスケッチ、制作企画書、活動の様子】</p> <p>⋮</p> <p>発 伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出し、形や色彩が感情にもたらす効果や、伝達の効果や美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練っているかを一時的に評価する。【アイデアスケッチ、制作企画書】</p>	<p>態表 主体的に構想を練ろうとしているかを見取る。【制作企画書、活動の様子】</p> <p>⋮</p> <p>態表 生徒が知識を活用しながら、発想や構想の学習活動に取り組もうとする態度を評価する。【アイデアスケッチ、制作企画書、活動の様子】</p>
<p>5</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>9</p>	<p>3. 制作 (5時間)</p> <p>●発想や構想を基に、意図に応じて表現方法を創意工夫し、見通しをもって表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・形や色彩が感情にもたらす効果を制作に生かす。 ・主題を表すために、材料の特性を生かしながら制作する。 <p>・制作の途中で鑑賞を行い、友人の作品を見たり自分の意図を説明したりすることにより、表したいものをより一層明確にするなどして、作品を完成させる。</p>	<p>知 形や色彩などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しているかを見取る。【制作途中の作品】</p> <p>技 形や色彩などが感情にもたらす効果を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら表しているかを見取る。【制作途中の作品】</p> <p>⋮</p> <p>知・技 作品から、意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら表しているかを見取るとともに、形や色彩などが感情にもたらす効果や全体のイメージで捉えることを理解していることを併せて見取り、知と技を知・技として一体的に評価する。【作品、アイデアスケッチ、制作企画書】</p>	<p>技 この段階で構想などがまとまらない生徒を中心に見取り、指導を行う。【制作途中の作品】</p>	<p>態表 主体的に表現方法を創意工夫したり、見通しをもって表そうとしていたりしている態度を見取る。【制作途中の作品、活動の様子】</p> <p>⋮</p> <p>態表 主体的に制作に取り組み、形や色彩が感情にもたらす効果や造形的な特徴などを基に全体のイメージで捉えることを理解しようとし、見通しをもち意図に応じて工夫して表そうとしている態度を評価する。【作品、活動の様子】</p>
<p>10</p>	<p>4. 鑑賞 (1時間)</p> <p>●生徒作品を相互に鑑賞し、伝達のデザインにおける見方や感じ方を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完成した作品を相互に鑑賞し、作品から感じたことや考えたことを説明し合い、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める。 	<p>知 形や色彩などの効果や全体のイメージで捉えることを理解しているかを見取る。【発言の内容、ワークシート】</p>	<p>鑑 伝達のデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めているかを見取る。【発言の内容、ワークシート、活動の様子】</p>	<p>態鑑 伝達のデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深める活動に取り組む態度を見取る。【発言の内容、ワークシート、活動の様子】</p>


			<p>態鑑 作品を鑑賞し、形や色彩の効果や全体のイメージで捉えることを理解しようとし、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めているかを評価する。【発言の内容、ワークシート、活動の様子】</p>
<p>授業外 〈題材が終了後〉</p>	<p>知・技 完成作品やワークシートなどから知・技の評価を再確認し、必要に応じて修正する。 【完成作品、アイデアスケッチ、制作企画書、ワークシート】</p>	<p>鑑 伝達のデザインの目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を深めているかをワークシートで見取り評価する。【ワークシート】</p> <p>発 主題や構想の工夫などを記述したワークシート等を完成作品と併せて再度見取り必要に応じて修正する。【完成作品、アイデアスケッチ、制作企画書、ワークシート】</p>	

2 本題材における指導の工夫のポイント


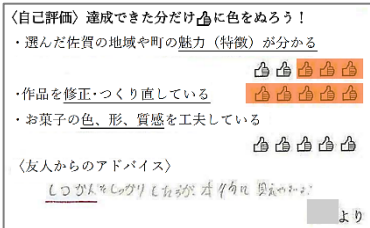
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の視点に基づいて、本題材における具体的な例を示します。
- ・ □: 「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた表現活動サポート Q & A」(coming soon) 、 □: 「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善サポート Q & A」を併せて御参照ください（以下の表中では、特に関連のある Q の内容のみ表記します）。

1 生徒が自ら発想や構想をするための指導の工夫

時	○学習のねらい □ 指導の工夫 ■ 授業改善の具体的な内容
2	○主題を生み出す。
3	○主題を基に構想を練る。
4	<p>1. 発想や構想を支えるワークシート等の工夫</p> <p>本題材では、伝える目的や条件などを基に、地域の特徴やお菓子を購入する客層、食べる場面のイメージなどから主題を生み出す活動を設定しました。生徒自身が関心のある佐賀の地域を選択し、その地域の魅力が伝わるようなお菓子のデザインを考えることを通して、社会における美術の役割を意識することができるようにしました。また、構想を練る段階では、主体的に取り組むことができるようにするために、商品の開発を意識し、アイデアスケッチを基に制作企画書にまとめる学習活動を設定しました。</p> <p>第1時の鑑賞の学習を踏まえて、主題を生み出す場面では、幅広い多様なアイデアを生み出すために、マッピングを用いて、生徒自身が選んだ地域の魅力についてのイメージを広げることにつながりました。それを踏まえてアイデアを形にする際、思考の過程を可視化できるようにするために、</p>

2	<p>○主題を生み出す。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">3. 友人との交流で学んだことを自分の表現に生かす活動の設定</p> </div> <p>アイデアをよりよくするために、発想の時間の途中、グループでアイデアスケッチを鑑賞し、アイデアのよい点やアドバイスしたい点について話し合う活動を設定しました（資料3）。授業のはじめにアイデアを考えるポイントとして、次の①、②を提示しました。 ①地域の魅力や特色の伝達、②色、形、質感などの造形の要素です。このポイントを基に鑑賞を行うことで、鑑賞の視点を共有し、目的に沿って話し合う活動を行うことができるようにしました。また、友人からのアドバイスはアイデアスケッチの横の記入欄に記入し、それを基にアイデアを改善しながら構想を練ることができるようになりました。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>資料3 グループで話し合う活動の様子</p> </div> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-top: 10px; text-align: right;"> <p>Q6 話し合い活動のポイントは？</p> </div>
---	--

2 生徒が創造的に表す技能を働かせて表現するための指導の工夫

時	○学習のねらい □ 指導の工夫 授業改善の具体的な内容
5	○発想や構想を基に、意図に応じて表現方法を創意工夫し、見通しをもって表す。
6	<p style="text-align: center;">2. 材料・用具コーナーの設置</p>
7	
8	
9	<p>生徒が発想や構想をしたことを基に、材料を試したり、試作品をつくって確かめたりすることができるようにするために、前時に引き続き、材料・用具コーナーを設置しました（資料2）。試していく過程で発見した効果を制作に取り入れて、必要に応じて発想や構想したことを修正しながら創意工夫して表すことにつながるようにしました。また、材料や用具の特性を踏まえて順序を考えながら制作を進めることで、制作の見通しをもって表現することにつながるようにしました（資料4）。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>資料4 制作の様子</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-top: 10px; text-align: right;"> <p>Q1 生徒が創意工夫して表現できるようにするための指導のポイントは？ (coming soon)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px; margin-top: 10px; text-align: right;"> <p>Q3 【共通事項】の指導のポイント①～⑦：「形や色彩などが感情にもたらす効果」、「材料の性質や質感について」、「造形的な特徴」などを基に全体のイメージを捉えることについて</p> </div>
7	<p>○発想や構想を基に、意図に応じて表現方法を創意工夫し、見通しをもって表す。</p> <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">3. 友人との交流で学んだことを自分の表現に生かす活動の設定</p> </div> <p>自分の制作を振り返るとともに、友人が気付いたよさやアドバイスを基に自分の表現に生かすことができるようにするために、制作の途中で相互に鑑賞を行う活動を設定しました。自分の制作を振り返る際は、制作のポイントに沿って達成した度合いを自己評価するカードを準備しました。自己評価したカードを友人に渡し、同じポイントで相互に作品を鑑賞した上で、カードに友人の作品のよさやアドバイスを記入することができるようになりました。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>資料5 相互に鑑賞したときに記入したカード</p> </div> <p>相互に鑑賞を行ったことを意識しながら次の制作に取り組むことができるようにするために、記入後のカードを受け取り、制作企画書に貼るようにしました（資料5）。また、友人の様々な表現方法を自分の制作に生かすために、1人1台端末で制作途中の作品の写真を撮影したものを大型提示装置に提示し、全体で共有しました。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px;"> <p>Q6 話し合い活動のポイントは？</p> </div> </div>

3 表現と鑑賞を関連させて学びを深めるための工夫

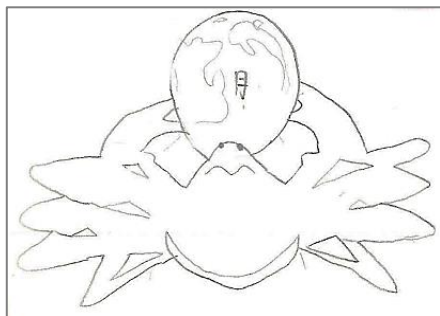
時	○学習のねらい	□ 指導の工夫	■ 授業改善の具体的な内容
10	○生徒作品を鑑賞し、伝達のデザインにおける見方や感じ方を深める。	<p>4. 身の回りの生活と関連付けた鑑賞の活動の設定</p>	<p>制作が終了したあとの鑑賞の活動について、①自分の作品の振り返り、②学級全体で鑑賞、の2段階に分けて設定しました。</p> <p>①では、形や色彩、質感などの造形の要素、発想したことを基に、地域の特徴を伝えるために工夫したことについて自分の作品を振り返り、ワークシートに記入するようにしました。</p> <p>②では、生徒が生活の中の身近なこととして鑑賞に親しむことができるように、販売者と購入者に分かれて鑑賞する学習活動を設定しました。作品に対する見方や感じ方を広げることができるようにするために、様々な作品を楽しく鑑賞するとともに、全員がどちらの役割も体験できるような場を設定しました。販売者による発表はグループ単位で行い、全員の発表を聞くことができるようにするために、発表が終わるたびに購入者がグループを移動するようにしました（資料7）。①の活動で振り返った内容を基に、販売者は自分の作品について購入者に伝えました。販売者が内容を整理しながら購入者に対して伝えることができるようにするために、販売者の発表内容の枠を大型提示装置で提示しました（資料8）。購入者は、販売者の発表を聞き、購入するお菓子を選ぶ基準に沿って作品を選ぶようにしました。購入するお菓子を選ぶ基準はお菓子購入カードに示しました（資料9）。表現の活動で意識したことを鑑賞の活動に生かすことができるようにするために、購入するお菓子を選ぶ基準、販売者の発表内容及びアイデアスケッチのワークシートの項目（資料1-1）との関連を図りました。また、地域の魅力が伝わるデザインになっていると感じた作品については、お菓子購入カードのチェックボックスと理由の欄に記入をし、販売者に渡すようにしました。</p>
資料7 学級全体の鑑賞の流れを示す提示の例			
資料8 販売者の発表内容			
資料9 お菓子購入カード			
Q2 表現と鑑賞の活動の関連を図るときポイント？ (coming soon)			
Q3 〔共通事項〕の指導のポイント①～⑦：「形や色彩などが感情にもたらす効果」、「構成の美しさについて」、「余白や空間の効果」、「造形的な特徴」などを基に全体のイメージを捉えることについて			

Plus + もっと知りたい！～学習の過程における表現の活動の見取り～

生徒の発想や構想、それを基にした表現の活動を見取った場面について紹介します。

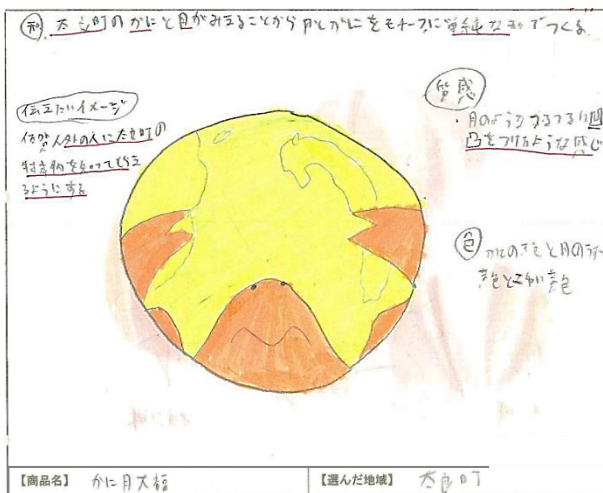
完成作品の完成度だけで判断するのではなく、ワークシートや活動の様子を観察など様々な評価材料を基に、生徒の学習の過程を見取っていくことが大切です。また、生徒が自分自身の活動を振り返った資料を活用することも、生徒の意図を把握する上で効果的です。

○生徒Aの学習の様子（資料10-1～3）



- ターゲット
・佐賀県外の人。観光に来たときに食べてほしい。
- 地域のイメージや魅力を伝えるデザインの工夫
・色は明るくする。形はかになどの特産品を模した形で、食べやすい形にする。かのに質感に似せるようにする。

資料10-1 アイデアスケッチ



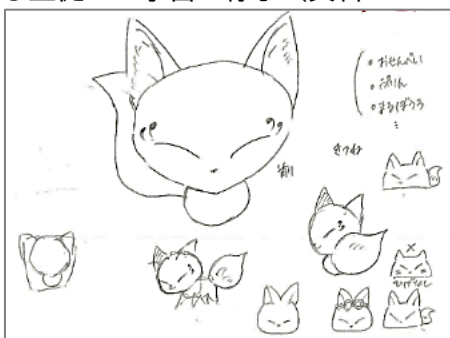
資料10-2 制作企画書



資料10-3 作品

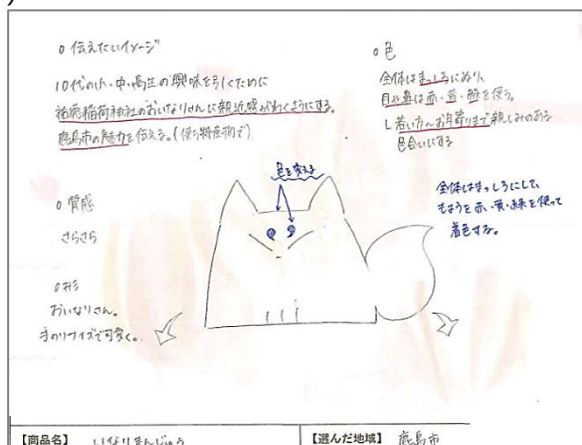
生徒Aは、太良町の魅力を伝えるお菓子にするために、特産品である「竹崎かに」と「月の引力が見える町」というキャッチコピーを基に主題を生み出しています。地域の魅力を伝えるために、かになどの特産品を模した形で、食べやすくするような形などのデザインの工夫を考えていることが分かります。発想や構想の段階でのアイデアスケッチ（資料10-1）と制作企画書（資料10-2）を比較すると、竹崎かにや月の色彩のイメージを基にお菓子の色彩を構想していることが分かります。また、形が単純化され、丸を基調とした食べやすさを考慮した形を検討していることが分かります。このことから、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果や美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っていると見取り、評価につなげました。

○生徒Bの学習の様子（資料11-1～3）



- ターゲット
・小中学生、高校生。参拝に来たときに食べてほしい。
- 地域のイメージや魅力を伝えるデザインの工夫
・和風の色、稲荷の形、さらさらした質感にする。

資料11-1 アイデアスケッチ



資料11-2 制作企画書



資料11-3 作品

生徒Bは、鹿島市の魅力を伝えるお菓子にするために、「祐徳稲荷神社」を基に主題を生み出しています。地域の魅力を伝えるために、日本の伝統色、神社の造形をモチーフとした形などのデザインの工夫を考えています。生徒Bの制作企画書（資料11-2）から、発想や構想の段階では、様々な角度から数多くのアイデアスケッチ（資料11-1）を行った上で、造形の要素などを基にアイデアを検討していることが分かります。このことから、形や色彩などが感情にもたらす効果や、伝達の効果や美しさなどとの調和を多様な視点から総合的に考え、より伝わりやすい表現の構想を練っていると見取り、評価につなげました。

○生徒Cの学習の様子（資料12-1、2）

生徒Cは、嬉野市の魅力を伝えるお菓子にするために、特産品である「嬉野茶」を基に主題を生み出しています。制作に当たっては、嬉野茶のクッキーの緑色を表現するために、粘土に緑色の絵の具を練り込み、更に何種類もの緑色を重ねています（資料12-1）。自分の表現意図に近づけようと、表現方法を試行錯誤しながら制作を進める姿を見ることができたことから、主体的に表現方法を創意工夫して表そうとしていると見取り、評価につなげました。



資料12-1 制作の様子

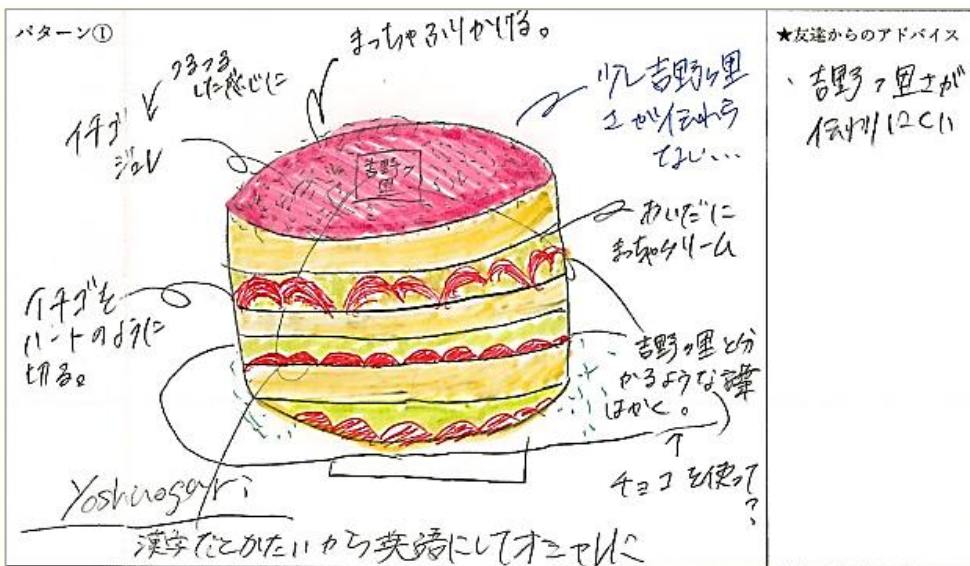


資料12-2 作品

○生徒Dの学習の様子（資料13-1～4）

1. 魅力を発信したい位置の地域を決めよう	
○地域名	吉野ヶ里町
○伝えたい地域のイメージや能力	・いちごがおいしい ・抹茶 ・アールグレイを使ったお菓子
2. ターゲットを決めよう	
○対象となる相手	○どのような場面で食べてほしい?
・10代～20代の若い人 ・女子	・11月に作品展と ・女子
3. 地域のイメージや能力を伝えるデザインの工夫をしよう	
○色	・食べるとやわやわするお菓子に色はカラフルに。 ・カラフルなだけじゃなく
○形	・ピンと見てもおいしいお菓子に見えるお菓子は、お菓子の形に似せたい ・お菓子の形
○その他	・カラフルな装飾で、 ・お菓子の形に似せたいお菓子の形は、お菓子の形に似せたい。

資料13-1 主題を生み出す



資料13-2 アイデアスケッチ



資料13-3 作品

- ・写真映えるようなお菓子を制作したいと思ったことから、10代～20代向けのカラフルなタルトケーキにしました。カフェで写真を撮りながら楽しんで食べてほしいです!!
- ・見た瞬間にワクワクしてほしいので、5種類の色を使い、筒形にしました。挟んでいる緑と赤は、抹茶といちご味のスポンジを表しています。ハート形のイチゴチョコは、一目で吉野ヶ里町のお菓子と分かるように作りました。
- ・上の部分のタルト生地と下の部分のケーキのスポンジ生地の質感を変えています。タルト生地は上からボンドを薄く塗ってつるつるにして、スポンジ生地はざらざらな質感にするために歯ブラシのような用具を使用しました。

資料13-4 制作後の生徒Dの記述

生徒Dは、吉野ヶ里町の魅力を伝えるお菓子にするために、特産品である「いちご」を基に主題を生み出しています。制作を進めていく中で当初の構想と異なる表現になったため、タルトとケーキを組み合わせるアイデアに変更しています。生み出した主題に変更はないため、それを基にアイデアを再検討し、制作の段階では意図に応じた表現を進めている様子から、学習を調整しながら粘り強く取り組んでいると見取りました。このように当初の構想から変更が生じて、制作の様子、ワークシート、作品、生徒との対話などから、表現の過程を丁寧に見取りました。さらに、題材終了後の生徒Dの記述は、生徒Dの表現の意図を把握するために有効であるため、丁寧な見取りや分析を大切にしました。生徒Dが、自分の意図に応じて形や色彩、質感が感情にもたらす効果を意識しながら、表現方法について試行錯誤を重ね、創意工夫して表していることを見取り、評価につなげました。